



めかるナハセン通信

【発行】第22号(平成30年3月)

なは市民活動支援センター

〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1

なは市民協働プラザ 2 階

1 年間センターのご利用ありがとうございました
次年度もどうぞよろしくお願いいたします！



センターからのお知らせ

次年度の更新をお願いいたします！

センターの機能を継続して利用するには、平成 30 年度の更新手続きが必要となります。なは市民活動支援センター利用登録申請書を、センターのホームページからダウンロード、もしくはセンター窓口にて入手、記入の上（代表者又は団体の印を押印）、センター窓口にて提出をお願いいたします。更新の手続きはお早めをお願いいたします。

カフェ「春々堂（ちゅんちゅんどう）」が4/9（月）11時にオープン！

なは市民協働プラザ1階（B コア）にカフェ「春々堂（ちゅんちゅんどう）」が4月9日（月）にオープンします！コーヒーなどのドリンクメニューの他、ケーキなどのデザートやカレーなどもあります（^o^）／みなさんぜひお越しください！



インターン生がやって来た☺

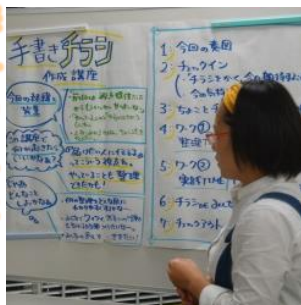
2月22日から3日間、沖縄大学からインターン生が来ました！センター業務や、なは協働まつりの運営に関わり、協働によるまちづくりの仕組みを学びました！ご指導していただいた皆さま、ありがとうございました。





センター講座開催しました♪

2月23日に「手書きチラシ作成講座実践編」を開催しました。室伏 長子さん（doodle do コトバグラフィッカー）を講師にお迎えし、「何を伝えたいのか」情報を整理しながら、実際にチラシを作成するワークを行いました。



3月28日に「会計の基礎講座」を開催しました。波立 恭尚さん（大城税理士事務所）を講師にお迎えし、基礎から丁寧に教えて頂きました。会計の目的をしっかりと確認し、現金・預金の管理を行う際のポイントや領収書や書類のまとめ方を学びました。



H29 年度 なは市民協働大学院公開発表・修了式 (2/10 県立博物館・美術館 講堂)

今年度は「地域課題の解決」をテーマに、8か月の間、まちづくりについて学びを深めてきました。全6チームによる、「課題解決のためのアクションプラン」の発表が行われ、各チームそれぞれの想いが散りばめられた、成果発表会となりました。「課題解決に向けて取り組んでいく決意を感じた」「今後の私の地域活動に活かしていきたいと思う」との声もいただきました！



☆第2回なは協働まつり☆ (2/17 イオン那覇店)

那覇市協働大使の皆さんの日ごろの活動を紹介するとともに、市民の皆さんに「協働」について知ってもらう事を目的として開催されました。まつりのなかでは、「なは市民協働大学卒業式」も行われました。全12回にわたる講座の中では、市政を知る講座やまちまーいのほか、協働によるまちづくり活動を行っている団体の活動に受講生が参加するインターンシップを行いました。卒業となった受講生には「那覇市協働大使」の委嘱も行われました。他にも、合唱や協働大使によるポスターセッションなどがあり、大盛況となりました。





助成金情報

『公益財団法人 金秀青少年育成財団 平成 30 年度 青少年育成助成金』

締切:平成 30 年 4 月 27 日 (金)【必着】

沖縄県内の各種団体が行う、青少年の健全育成に関わる事業及び活動に対して助成を行うことにより次代を担う有為の人材の育成を援助し、もって社会的貢献を果たすことを目的とする。

■助成対象■

沖縄県内を活動の拠点とする各種団体が行う、青少年の健全育成に関わる事業及び活動に対して助成を行う(法人格の有無は問わない)。

■助成限度額■

申請に基づき決定。ただし、1 団体あたり原則として 20 万円以内とする。



■問い合わせ先■

公益財団法人金秀青少年育成財団
TEL:098-868-6611 FAX:098-862-2506
MAIL:info@kanhide-zaidan.or.jp

『一般社団法人 大竹財団 大竹財団助成金』

締切:通年。年間を通じて申請を受け付け。(申請から可否の決定までに、通常 1 か月ほど)

大竹財団では、主旨、活動目的を共にし、社会問題解決に取り組む個人、NGO、NPO に助成金の給付を行っている。

■助成対象■

公益、社会問題の解決に取りくむ事業をおこない、日本国内に事務所や連絡先をもつ NPO、任意の市民団体、ボランティアグループ、個人

優先助成分野:①平和 ②環境/資源エネルギー ③人口/社会保障 ④国際協力

■助成限度額■

50 万円



■問い合わせ先■

一般社団法人大竹財団(事務局/担当:関盛)
TEL:03-3272-3900 FAX:03-3274-1707

『国際交流基金 地域リーダー・若者交流助成プログラム』

締切 平成 30 年 5 月 1 日 (火)【必着】

国際的な知的交流・対話の担い手となる若い世代の育成を目的とし、地域社会に根差した活動を行うグループや NPO 等、又は青年や学生の団体が実施する国際的な対話型事業に対し、経費の一部を助成します。

■助成対象■

2018 年 7 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日に実施するもので、将来において国際的な知的交流・対話の担い手となる人材の育成を目的とし、申請団体が主体となって課題を設定し、海外からの参加者も得て議論する、国際会議やセミナー、ワークショップ等の対話型事業(開催地は国内でも国外でも構いません)。

■助成内容■

旅費(国際航空賃、国際船賃、国内交通費、滞在費)



■問い合わせ先■

日本研究・知的交流部 企画調整・米州チーム
TEL:03-5369-6069 MAIL:r_info@jpf.go.jp





市民活動のヒントに！ 今月の本☺

センターからの今月の一冊はこちら♪

『ファシリテーション・グラフィック 議論を「見える化」する技法』

著者：堀 公俊＋加藤 彰 日本経済新聞出版社 刊



●議論を「見える化」するファシリテーション・グラフィックのスキルを網羅的に解説した本です。

必要な道具、表現方法、要約、図解、レイアウトなど、必要不可欠なテクニックがすべて集約されており、これを1冊読めば、必要なスキルがひととおり習得できるようになっています。

スキルが活かされる場面として、①定例の話し合いの場 ②思いや問題意識をすり合わせる場 ③網羅的な検討が必要な場 ④自由に意見を述べ合うワークショップの場 ⑤自由奔放にアイデアを出し合う場 ⑥実行計画に落とし込む場 ⑦意志統一が必要な場 ⑧ちょっとした打合せの場 ⑨進め方のレベル合わせの場と、9つの場面での活用方法が、■活用シーン、■描くポイント、■事例をみてみよう、■ステップアップのヒント、とポイントごとに解説されており、実際に作成した図と写真も示されています。

社会人としても極めて有用なスキルであるだけでなく、自治会やPTA、NPOなど各種団体の運営の場で、このスキルを身に付けておけば、大いに役立つこと間違いなしです。

図や写真も多く（文字も多く、理論とあわせて場面ごとに詳しく解説されており）、理解しやすくする工夫がされています。

By 宮内



なは市民活動支援センター

検索

お問い合わせ なは市民活動支援センター

〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ2階

TEL : 098-861-5024 / FAX : 098-861-5029

メール : C-KATU005@city.naha.lg.jp

会議室の料金

会議室①(84人)1300円/1時間 ★舞台アリ

会議室②(36人)650円/1時間

会議室③(45人)650円/1時間

会議室④～⑦(12～18人)200円/1時間

会議室⑧(24人) 250円/1時間

研修室①(16人) 200円/1時間 ★和室

研修室②(17人) 200円/1時間

市民活動等にぜひお役立てください(∩_∩)♪

たくさんのご利用、お待ちしております！

■印刷料金■ ※印刷用紙はご持参ください。

	サイズ	金額
モノクロ	A3 以内	1枚 1円
カラー	A3 以内	1枚 4円

※平成29年4月料金改定

